

3月は、卒業と巣立ちのシーズン

3月は卒業と巣立ちのシーズン。

1年生の時に授業した学生の携帯から、次のようなメールをいただいた。

【 私 4月から念願の幼稚園教諭として働く事になって嬉しい反面、1人で担任として保育していく事に今、多大な不安を感じています。

こどもを含め相手の気持ちを常に最優先に考えながら、保育者と言う職業を精一杯頑張っていきたいと思います！

(勝手にこの場で宣言してすみません。

誰かに宣言すると自分自身により明確に頑張ろうと思えるので宣言させて頂きました！) 】【

授業で、まず相手の心に寄り添うこと、また、自らが自らに課題を課す勇気の大事さを語りかけていただけに、学生なりに理解して心懸けていることを知ることができ、こんな嬉しいメールはない。

その気持ちを伝えたく、次のように返信した。

【 本当にそうですよね。

授業でも話しましたが、だから発信することが大事になります。

これからも、こうした宣言という発信を忘れず、頑張ってくださいね。

こんな宣言でしたら、これからも、いつでも、たくさん聞かせてくださいね。 】【

また、1年生の時にわずか7回の授業しただけの他の学校の学生からも、「卒業前に、先生にもう一度会いたいというクラスメイトが何人かいます。お時間をいただけませんか。」との携帯からのメール。

もちろん、近々街で会うことにした。

巣立ちを前に、非常勤の身に過ぎなかった自分なのに、こうして思い出してわざわざメールをくださるなんて、(;_;)×3

常に何事も自らの糧とポジティブに思考し、自らにチャレンジし続けることを旨とする阿部ワールドの住人だった若者たちが、就職に、また、専門職を目指して更に進学にと、巣立って行く。

若者たちがそれぞれの道で、主体的な自らのワールドを構築してくれることを心から願っている。